

I

■出題のねらい

□1～□3は、基本的な文法や熟語を理解しているかどうかを問います。□4, □5は、前後の内容を正しく理解して、適切な表現を選ぶことができるかどうかを問うものです。□6, □7は、文脈から意味を推測し、同義語で表すことができるかどうかを問います。□8は、文脈から意味を正しく理解しているかどうかを問う問題です。

■採点講評

大問Iの中では、□5の正答率が最も高く、□1の正答率が最も低かったです。□1は“have + ～ + 原形不定詞 (toがなく動詞の原形をそのまま用いる)”「～に…させる」という語法を、□2は“have + difficulty + 動詞の原形 + -ing”「～するのに苦労する」という語法を、それぞれ知っているかどうか为正答に辿りつくポイントとなります。□6は、“polish”「～に磨きをかける」と“improve”「～を向上させる」の類似性に注目してください。大問I～IVのすべての問題の中で、この□1の正答率が最も低かったです。

II

■出題のねらい

ホームステイに関する話題を利用して、比較的易しい会話や短い手紙文の内容を正しく理解できるかを問う問題です。

■採点講評

大問IIの中では、□11の正答率が最も高く、□15の正答率が最も低かったです。□15は、本文“After dinner”におけるMrs. Pittの発言“I love Japanese food. But it'll be just you and me. My husband will be working tomorrow.”に注目できれば、正答に辿りつけるはずですが、本文では“a sock that I found behind the washing machine”と述べられているのに、選択肢④では“a sock she found under the bed”となっていますので、④は本文の内容と合うものにはなりません。大問I～IVのすべての問題の中で、この□11の正答率が最も高かったです。

III

■出題のねらい

[16], [17]は、基本的な動詞の意味を理解しているかどうかを問う問題です。[18], [19]は、全体の意味を正しく理解できているかを問う問題です。[20]は、細部の情報を把握できているかを調べる問題です。

■採点講評

大問IIIの中では、[16]の正答率が最も高く、[18]の正答率が最も低かったです。[18]は、選択肢B: Decide how much working time you have. と本文の “**How much time do you have ?**”, 選択肢C: Make a list of tasks that need doing. と本文の “**What do you have to do ?**”, 選択肢F: Sort the tasks according to urgency. と本文の “**What is important ?**”, 選択肢A: Calculate how much time each task will take. と本文の “**How much time will it take ?**”, 選択肢D: Make your plan for today. と本文の “**Do the planning**”, そして選択肢E: Reflect on your time management after finishing the day's tasks. と本文の “**Review the progress**” の関連性にそれぞれ気づくことができれば、正答に辿りつくことができます。また, “reflect on~” 「~をよく考える」, “review” 「~をよく調べる」, “see” 「~を見直す」, “check” 「~を再検討する」の意味にも注意しましょう。[20]は、本文の “The log should at least consist of the date, type of activity, start time, and duration.” の部分に着目できるかどうかポイントとなります。そして、3行目 “date” と選択肢 “August 8”, 3行目 “type of activity” と選択肢 “mailing clients”, 3行目 “start time” と選択肢 “12 : 30”, 3行目 “duration” と選択肢 “45 minutes” の関連性に気づくことができるかどうかポイントとなります。

Ⅳ

■出題のねらい

案内や地図を理解して、自分の目的に合うか、実際に可能かを検討する能力を問う問題です。

■採点講評

大問Ⅳの中では、[23]の正答率が最も高く、[22]の正答率が最も低かったです。[21]の正答率は50%でした。選択肢③の“take advantage of some discount coupons for museums”「博物館の割引優待券を利用する」部分が、本文“**Bus and Subway Passes and Pre-paid Cards**”内の“Kyoto Sightseeing Card”の説明の部分に書かれていることを見つけ出すことができれば、正答に辿りつくことができたはず。[23]～[25]では、“walk north”「北へ歩く」や“in front of ～”「～の前に」、 “turn right”「右に曲がる」、 “walk past ～”「～のそばを歩いて通りすぎる」などの表現が出てきます。場所や方向などを示す英語表現や、道案内などで用いられる基本的な英語表現を日頃から覚えておくようにしておくことがこのような問題の対策には欠かせないでしょう。